

愛媛のかんきつ







口

ス削減で、

地元を元気に



「ひとくち食べた瞬間、誰かにおすそわけしたくなる。 3 度ある最高のくちどけ」



失われた活気を取り戻す

12 月中旬ごろ いよいよネット販売スタート!

1ホール(長方形型) 3,900円 で販売予定。詳しくは、「3℃」の インスタグラム(下の QR コード) をチェック!





るのは、合同会社M1-なった地元を、少しでも盛り 「コロナ禍の影響で元気がなく

問題になった「牛乳」を掛け合

コロナ禍の一斉休校で大量廃棄が 品を使った商品開発を試行錯誤。 されるのは悲しすぎる」と規格外 目が少し劣るというだけで廃棄

せ、双方のフード

ロス削減を目指



M 1-can (みかん) 代表 まっもと なおゆき 松本 直之さん=北黒田=

を失ったものです。友人の父親が

みかん農家だという松本さんは、

味は全く変わらないのに、見た

予定の規格外品やコロナ禍で販路

愛媛の高級かんきつ「紅まどんな」

甘平」を使用。かんきつは、廃棄

廃棄される規格外品で新商品を

仲間と共に、コロナ禍で増加傾向 表の松本直之さん。同じ志を持つ ズケーキ「3℃」を開発しました。 と、愛媛のかんきつを使ったチ にあるフードロスを削減しよう る力になりたい―」そう力強く語 c a n 代

同して応援してくれる人が多い 金額を達成するなど、「趣旨に替 始予定。クラウドファンディング 2月ごろに車による移動販売を開 と感謝する松本さんは、「大好き 月中旬ごろにインター による資金調達では1カ月で目標 地元愛が詰まった「3℃」は、 ネット販売、

のプロジェクトを大きくしてい たい」と目を輝かせる松本さんは、 と意気込んでいます。 わってくれた全ての人たちの地元 な松前町や愛媛県はもちろん、関 「魅力的な地場産品を使って、こ 上げることができたら―

エス・ディー・ジーズ SDGs って? サスティナブル デベロップメント ゴールズ Sustainable Development Goals (持続可能な開発 世界全体で取り組む 目標)の略称。2015年9月に国連サミットで採択された、 国連加盟国 193 カ国が 2030 年までに達成を目指す国 17の国際目標 際目標のことです。 「誰一人取り残さない」という理念のもと、今も、これ からも、世界中の人が地球で幸せに暮らしていくために、 17 の目標 (左下の図参照) と 169 のターゲットが設定さ れています。 **固総務課企画政策係** ☎ 985-4103

SUSTAINABLE GOALS



















次のページから紹介する、町豊かさへつながっていきます。 はありません。日常生活の中で少 SDGsは決して特別なことで ませんが、17の目標一つ一つは私 の取り組みを通して、身近にある ることが、「持続可能な」未来の たちの生活に身近なものばかり。 と、壮大なものに思えるかもしれ しだけ、意識したり工夫したり 「世界全体で取り組む」と聞く

SDGsは身近なところに



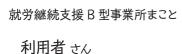
農業を通じて、 自信や生きが \sim

Interview 農作業体験マッチングを終えて

特定非営利活動法人まこと ゃょさき すみと 山﨑 澄人理事=南黒田=

就労継続支援 B 型事業所では、 -般企業で働けるよう、障がいの

ある人に就労支援を行っています。障がい特性に合わ せたニーズに応えるため、事業所で行う作業にもバリ エーションが必要です。農福連携で体を動かす農作業 を行えることは、利用者のレベルアップにも一。工賃確 保につながるよう、今後も積極的に行っていきたいです。



農作業は初めての経験でした が、もともと体を動かすことが好

きなので、楽しかったです。2時間程やってみて、大 変だけどとてもやりがいのある仕事だなと思いました。







- 1_サトイモの収穫体験
- 2_ 商品になる選別基準の説
- 3_収穫されたサトイモ
- 4_ 雨の日など外で作業ができ ないときは、イチゴの手入れも



12 月オープン! まさきばたけの観光イチゴ園

障がいのある人の就労の場と して準備を進めてきたイチゴ園。 イチゴ狩りができる観光農園とし てオープンします。詳しくは、ま んまイチゴ園のインスタグラム (下の QR コード) をチェック!

●まんまイチゴ園 松前町大字中川原 401 番地 1 **2** 070-8558-1583





障がい者雇用

程を細分化してマニュアルを作

が農業で活躍できるよう、

たらもっとよくなると思う」と話

小林さんは、「障がいのある人

れるので助かります。作業に慣れ えて、「皆さん真面目に働いてく

今回初めての

マッチングを終



農業









ができるイチゴ園を立ち上 を増やしたり、 とのないように、年間を通じて 業や雨の日に作業がなくなるこ さきばたけ代表の小林裕之さん。 ろんな仕事を用意しています」 さんが困る。繁忙期だけ 今回初めてう、として準備を進めてきました。 作業日が不安定だと利用者の皆 ように、収穫作業を行う ハウスの中で作業

3 契約する

委託作業の量、内容など を協議し、委託料を設定し て福祉事業所と農業者間で 委託契約を締結する。

作業した利用者の工賃 は、委託料から支払われる。

2 体験する

日程調整後、「農作業体 験マッチング」で、農作業を 体験する。



農福連携 (施設外就労) の流れ

相談する

伊予農業指導班(☎ 982-0477) に相談して、 マッチング相手を探す。



農福連携の形態

施設外就労のほか、 障がい者就労施設が農 業参入して、自施設の畑 などで利用者が農作業 を行う場合もあります。

辰福連携で社会貢献を

障がい者の就労の場を作

労働者不足に悩む農家と農業 の課題を解決しようとする「農福 連携」の前段として行われたもの 仕事がしたい福祉事業所が同マッ

障がい者の工賃向上など、両分野 が連携し、農作業の労働力確保や の就労支援に携わる「福」祉分野 続支援B型事業所まこと= 柳=の利用者4人と職員らが、 これは、「農」業分野と障がい者 の農園=中 イモの収穫に挑戦しました。 就労継 西高

農業分野と福祉分野の課題解決



まさきばたけ代表 こ ぱゃし ひろゅき **小林 裕之**さん=中川原=

5 2021-12 ❖ 広報 まさき 広報 まさき * 2021-12 4











1_子ども服を丁寧に並べる 2_ 大盛況の譲渡会。約 200 枚 が子どもたちの手へ 3・4_サ すく 5_袋は服を集めたときの ものを再利用 6_笑顔で接客



Interview

子ども服の譲渡会に参加

橘 あいり ちゃんを=恵久美= りあん ちゃん街

お気に入りの服を手にするあい りちゃんとりあんちゃんは、「可 愛い洋服がたくさんあった」と

にっこり。2人のお母さんも、「ごみを減らせる良い 取り組み。きれいに使ってくれているから、もらう側 も助かるしありがたいです」と話していました。

4 有効活用

次の三つに分類して有 効活用する。

- 1海外の子どもたちへ
- 2地域の子どもたちへ
- 3リサイクル企業へ

内板も、全て生徒たちの手作り ボールで作られたサイズ表示や案 訪れた人が手に取りやすいよう

るなど準備を進めてきました。

譲渡会当日、きれ

いに整えられ、

イズ別に並べられた子ども服。段

ロナ禍で対面での交流ができな

お話をしながら直接可愛

。盛況だった譲渡会を終え、「コ

3 洗濯

選別した服の汚れを取る。 染み抜きやアイロンがけは、 石田クリーニング本店で学ん



《休みを利用して洗濯、

やっても落ちないので、服の染み抜 まったので洗濯が終わらなかった さに苦労した」と振り返るように、 田中さくらさんが、「たくさん集 イロンがけ、ボタンの補修をす 水口奈央さんが、「何度

2 集めて選別

集めた服を、まだ着られるも のともう着られないものに選別。 着られないものは素材として再

品店「ユニクロ」を通じて難民キャ

た約3千着のうち約千着を、衣料 び掛け。保護者らの協力で集まっ なくなった子ども服の提供を呼

ンプの子どもたちへ届けました。

残りの約2千着は、地域の子ど

近隣の小中学校10校に対し、

う同プロジェクトでは、6月以降

今年の5月に立ち上げたと

ジェクト」のメンバーです。

校探QNIE講座「服の力プロ

の会を企画したのは、伊予高等学

も服の譲渡会が行われました。こ

プロジェクトの流れ

ユニクロエミフル MASAKI 店の出前授業で、着る服もな くて困っている難民の避難生 活について学ぶ。他にも服を 繊維に戻して再利用する「リ コットン」についてなど知識を 深めた。

福祉センター北側駐車場で、子ど

10月23日、

11月13日の2日間

子ども服





予高生

捨てるのではなく、必要な人へ

の取り組みを続けていきます 自由に持ち帰れるようにするなど サロンや松山市の子ども食堂など さんが、「まだ着られる服が捨てら に子ども服を提供し、 気がする」と話す水口さん。 できて、自分自身少し成長できた だけど、地域の人と関わることが 服を選んであげられてうれしかっ 願うように、今後は町内の子育? が普通になるくらい、 れている現状がある。リサイクル トの輪が広がってくれたら―」と 普段は人に話しかけるのが苦手 **仁」とほほ笑む次家あかりさんに、** 訪れた人が プロジェク

広報 まさき * 2021-12 6 7 2021-12 * 広報 まさき

ことが身近に感じられた」と話す

いです」と意気込む林さん。「働く うに町のために働く職員になりた

ましい顔つきになっていました。

職場体験学習

中学生



体験学習(「えひめジョブチャレン

-15」) は、地域の産業や企業

県教育委員会が実施する職場

が、職場体験学習を行いました。

月下旬、北伊予中学校の2年牛 町内の協力企業等20事業所で

育成しようと行われているもの。 就職したいと思う子どもたちを 魅力を感じることで、将来地元で に関する理解を深め、そこで働く

10月27、28の2日間、役場総務課

気がします」とほほ笑む上田さん 社の中で働くイメージが広がった 体験しました。 だちとそこで働く人たちを取材 り、町内で職場体験学習中の友 に、「大人になったら、皆さんのよ したりしながら、 職場体験学習を終えて、「将来会 広報作成業務を

や写真撮影のポイントを学んだ さんは、一眼レフカメラの使い方 を訪れた林和希さんと上田采奈





自分たちで撮った写真入りの

地元で働く魅力を感じて

がリア

ル



普段何気なくしていることでも、 「今」だけではなく、「未来」を見据えることで SDGs につながるのかもしれません。 皆さんも、今日から何か一つだけ 生活の中で意識してみませんか。



体験することで、 当日の様子を町公式インスタグラム (右の OR コード)

地場産品 学校給食



供されたのは、ジンギスカン、ほっ

11月5日、本町の小中学校で提



近供する給食交流を行いました。



北海道らしいものを給食で と北海道の松前町は、交流事業の 環で、両町の給食献立を交換して 姉妹都市提携を結んでいる本町

触れながら、残さ ちは、遠く離れた い」と笑うように

違うみそもおい 永井優衣さんが、「いつもと

れはおいしく食べられた」と話れ たほっけは好きじゃないけど、つみ みれ汁も、中村淳暉さんが、「焼い

ほっけのすり身で手作りされたつ で主流の辛口の米みそをベースに、 肉と味が違うけど、臭みもなくて 年生の橋本悠さんは、「いつものお ない食材でもおいしく食べられる おいしかった」とにっこり。北海道 れたジンギスカンに、松前小学校6 けつみれ汁、ヨーグルト。馴染みの ようにと、手間暇かけて下処理さ

Interview

食育から見た給食交流

松前小学校 栄養教諭 でうだ なおこ 郷田 直子先生

松前町の栄養教諭と1年分の 献立を交換して、提供するメ

ニューを決めました。直接情報交換することで、本 などの情報では得られない知識や工夫を知ること ができたのでよかったです。夏休みに試作をして、 抵抗なく食べられるように改良しました。自分たち の地元を大事にすることもそうですが、他の地域の 食材や献立を味わうことも、大切な食育の一つです。



まつまえ町●

memo 北海道の最南端に位置するま つまえ町とは、約1,500kmの距離がある。 まさき町と漢字表記が同じ町、城下町 として栄えた町という共通点から、姉妹

松前小学校 6 年生

都市となっている。